

食品安全・ビル管理・住環境のことなら



エコア株式会社

ECORE official newsletter
IKIIKILIFE 2025 Summer.
<https://www.ecore.jp>

ホームページ内 Facebook もチェック！

To the future beyond that

特集

- ASEAN 食品安全 2025
- 食品安全動向
- 水の安全 PFAS(PFOS・PFOA)
- エコアグローバル・SDGs
- おススメサービス・商品
- 2025 年夏会長コメント
- エコア調査隊が行く【ペストコントロール】

暑中お見舞い申し上げます

日本の円の価値が急速に下がりました。そのせいか、インバウンドは急速に増加し、海外から日本に旅行する人が増加しました。インバウンド需要は年々増加傾向にあり、2024年のインバウンド数は過去最多を記録しました。国内のさまざまな業界でインバウンド需要を呼び込み、消費を喚起するための施策が講じられています。

インバウンドで観光業の業績は上がる一方で国内の物価高における国民の負担が増加し、食品や生活用品の値上げに歯止めが利きません。スーパーで販売された米の平均価格が5キロで4077円となりました。米の平均の史上初の価格です。備蓄米放出決定後、2000円台の米も出始めましたが、ブランド米、古米等の格差が出始めています。食糧自給率を高める事は先進国にとって当然の事となっていくでしょう。

2025年6月で既に35度の真夏日となりましたが、ヨーロッパの一部地域で熱波が続きました。スペインでは6月28日に46度の記録。バルカン半島西部群でも40度となり、ここ数年の気象状況として日本も含め、新たな記録となる程の暑い状況となっています。日本は亜熱帯化してくるともいわれています。ここ数年春や秋の期間が短く異常な長さの夏を体感されていると思います。地球全体が気象変動となり、ゲリラ豪雨や竜巻、ハリケーン等も増加していると感じられます。サステナブル社会を實踐し、明るい未来が構築できる社会づくりが必要です。

エコアではサステナブルな社会を考え、エネルギーの再利用やコージェネレーションシステム、気象変動にも耐えられる資材や資源、食糧難に備えての養殖システム等を幅広く行っております。



代表取締役会長 宮澤 公廣

表紙油絵 武蔵野平野晩秋の富士
立川市「ソラノホテル」からの景色

ASEAN 食品安全 2025

2022年より始まったASEAN地域における食品安全研修ですが、各国の大学と連携し食品安全における取組やHACCPや、輸出入における食品安全規格の導入等の研修を行ってきました。ASEAN各国の特徴はありますが、基本的に先進国のような食品に対する管理ができる施設とも限らず、法の整備が不十分な事や、民家の軒先や屋外で調理した料理を提供する事も多く、衛生管理的には問題のある状況であることが伺えました。しかしながら、受講された皆様は今後、国の食品安全を向上させて行く為、HACCPやJFS規格等の普及を進めていく事になるでしょう。新時代における食品安全への研究や研修事業のグローバル化を実現し食品従事者に貢献できるよう今後も推進して参ります。

ASEANの食品安全レベル

ASEAN各国の特徴は異なりますが、総じて言える事が食品安全レベルの差異が大きいという事です。同じ国のなかでもグローバルカンパニーと契約をしている食品事業者はGFSI承認スキームの導入などをおこない、市場を自国のみならず世界を捉えている事業者もありました。一方で食品偽装やHACCPなどを十分に意識していない事業者もあり、かなりリスクな運営とも感じられました。これらの企業が同じ国で同業をしているので日本企業が取引する際には現地状況を確認する必要があります。

HACCPの浸透

ASEAN各国でも大学などでは授業としてHACCPが組み込まれている学校が多くあります。実際に学生などにも話を聞いたところ、知識レベルでは日本の大学教育でのHACCPとあまり差異はありません。一方でGMPなどの知識や製造装置技術などは日本が進んでいるので、現場ではHACCPの未完成度をGMPがカバー出来ていないことから事故に繋がる恐れが考えられます。しかし、これは日本においても同じことが言えるのでGMPとHACCPの連動性が効果になることを世界的に啓蒙する必要があります。



最新動向

HACCP制度 食品安全動向



HACCP制度化は改正食品衛生法の施行日2020年6月から制度化され、2021年6月に完全制度化となり、すべての食品事業者（製造、調理、販売、飲食店等）は「HACCPに基づく衛生管理」または「HACCPの考えを取り入れた衛生管理」の実施が求められています。

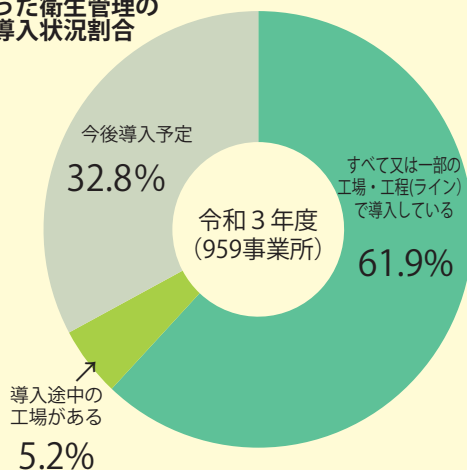
実際の導入状況ですが、農林水産省「食品製造業におけるHACCPに沿った衛生管理の導入状況実態調査」によると2021年3月10日時点では有効回答率（無効回答を除く集計に用いた調査対象者の数）55.5%で、制度化されている状況にもかかわらず、業界の半分程度しか施行されていない状況でした。しかし、その2年前の2019年では22.5%であった導入率を33%引き上げたことは食品業界の多くにHACCP導入が広がったとも考えられます。2021年度の調査では61.9%まで引き上がりました。当社ではHACCP導入についてのサポートを25年以上前から行ってきました。食品の衛生環境の現場はどんなに整えても製造における手順や従事者の衛生管理知識、扱う製品の性質、温度、時間経過等を把握していなければ食品の事故は防ぐことはできません。エコアは20年以上前より

GFSI(Global Food Safety Initiative:世界食品安全イニシアチブ)のメンバーとして毎年行われる国際会議にも参加し世界各国の食品安全に向けた最先端の情報を国内で発信しており農水省のGFSI国際会議参加のアテンドやJFS-A/B/C規格の発足に向けたプロジェクトとしてパイロット研修を全国各地で開催し2022年より「ASEAN地域の大学と連携した食産業人材育成事業」をASEAN地域10カ国にて展開しています。又、現場の衛生環境管理業務も並行して行っていることにより、生産性、運営、コストを考えながらHACCPや食品安全規格の導入を考案してきたことにより、多くのクライアント様より信頼され業務を行っています。

近年では異物混入やノロウイルス等の問題がマスコミ以上にSNS等で多く取り上げられ、従事者や利用客によるフードテロ行為等も増加しており、食品事業者にとってはさらなる厳しい衛生環境管理が必要となってきました。これらの対策として衛生管理は勿論の事、保管庫や製造現場、店頭でのモニター管理やAIやITを利用し徹底した安全環境を整える事で事故や事件も未然に防ぐ環境づくりをご提案しています。

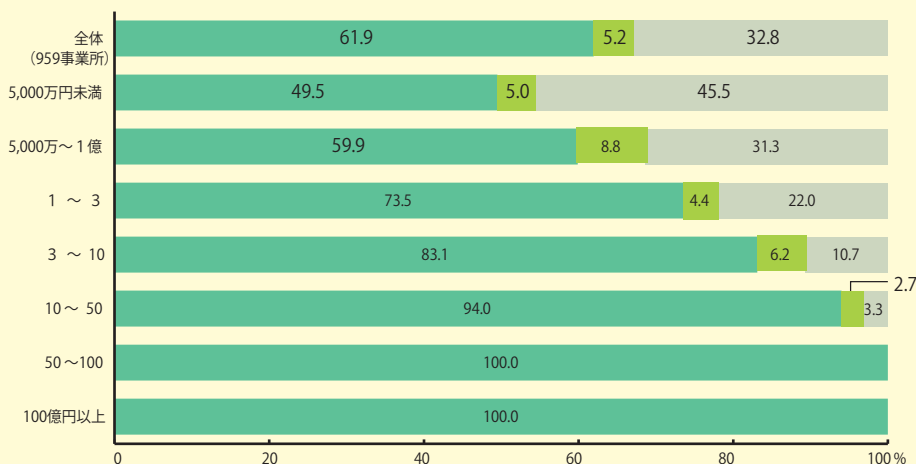
食品製造におけるHACCP導入状況

HACCPに沿った衛生管理の導入状況割合



■ すべて又は一部の工場・工程(ライン)で導入している
■ 導入途中の工場がある
■ 今後導入予定

農水省データ参照



新書物 「FSSC22000version6規格解釈へのポイント」

2024年の4月より大きな変更を受けたFSSC22000version6が適用開始されました。「FSSC22000規格解釈のポイント」「対訳 第三版 FSSC22000」「ISO22000認証取得宣言」等の食品安全規格の解釈や取得ポイント等の書籍を手がけてきたエコア株式会社代表取締役社長であり、高知県立大学客員教授(2019-)東京海洋大学大学院FSMS論非常勤講師(2010-2015)やASEAN各地の国立大学で講師も行ってきた食品安全における第一人者でもある宮澤公栄、そして第三者認証機関オーデイス株式会社最高審査責任者齋藤恵美との共著です。一般社団法人国際環境衛生協議会GOESより出版・販売されています。

購入はこちら→<https://ecoshop.com>

<https://goes-fs.org>

お見積り・お問い合わせ



0120-989-587





PFAS (PFOS・PFOA) 水の安全



社会的に問題となっているPFAS。人体に有害とされる有機フッ素化合物(群)と言われているPFASとはどんな物質なのでしょう?以前いきいきライフでも取り上げていますが、私達の安全な生活の為、まずは理解していく必要があります。

PFASとは

PFASは人工の化学物質でアメリカの化学メーカーによって商業的に開発されました。炭素とフッ素の結びつきで数千もの種類があるともいわれています。一部のPFASにおいては猛毒性が指摘されるものもあり、PFOS (ピーフォス)とPFOA (ピーフォア)はその有害性が懸念さ

れています。フライパンや泡消火剤等に使用されて居ましたが、ストックホルム条約 (POPs条約) によって規制対象となり、日本でも「製造、輸出入、使用」が原則禁止になっています。泡消火剤等の漏洩による汚染、産業廃棄物による汚染等で令和4年、河川などの環境省の調査では、国内の一部の河川や地下水で、国が定めた暫定目標値50ng/Lを超えるPFASが検出されました。多くの浄水場では、「50ng/L以下」にまで水質を高めて水道水を作り、それを各家庭に供給しています。しかし一部の地域では独自に水道水のPFAS検査が行われ50ng/Lを越える結果が検出されました。

PFAS規制

日本では2020年に「暫定目標値」PFOS・PFOA、合算で「50ng/L」という濃度指標が設けられましたが、これはアメリカの「生涯健康勧告値」を参考にしています。アメリカの生涯健康勧告値は2016年に制定され PFOS・PFOA、合算で70ng/L (70ナノグラム・パー・リットル) とされています。この勧告値は「70ng/Lよりも低い水であれば1日2L、70年間飲み続けても健康には影響しない」ということを示しています。しかし、2022年アメリカでは新たな生涯健康勧告値 PFOS:0.02ng/L、PFOA:0.004ng/Lとなりました。更に2024年アメリカの規制値は PFOS・PFOA、それぞれ「4ng/L」という値で法的拘束力を持ったものとなりました。日本ではまだ暫定目標値であり、アメリカのように法的拘束力もないものですが、アメリカのPFASに対する対策は大きな脅威として認識している対応だと考えられます。

PFAS規制の比較

アメリカ	PFOS・PFOA、各 4ng/L 法的拘束力有 (2024年)
スウェーデン	PFOS・PFOA4種合算 4 ng/L 法的拘束力無 (2026年)
カナダ	全PFAS合算 30ng/L 法的拘束力無 (提案中)
WHO	PFOS・PFOA、合算で 50ng/L 法的拘束力無
日本	PFOS・PFOA、各 100ng/L 法的拘束力無 (2020年)

エコアはお客様の環境に合わせたサポートを行います

給排水、PFAS調査・対策は
エコア株式会社へ

お見積り・お問い合わせ



0120-989-587

お問い合わせ
メールフォーム



用水処理設備フロー例

PFAS/除砂/除鉄/除マンガン処理



主な処理項目

- ・PFAS
- ・鉄
- ・マンガン
- ・色度 …など

原水（井戸水等）

除砂サイクロン装置
井水中の砂などの固形物を除去

除鉄・除マンガン装置
鉄分やマンガン分を除去

PFAS除去装置
PFASを除去

滅菌剤注入

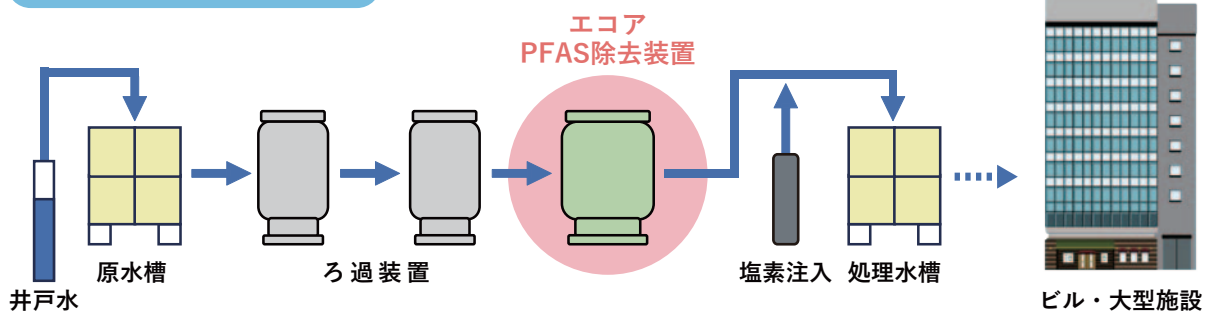
処理水槽

工場内・施設などへ

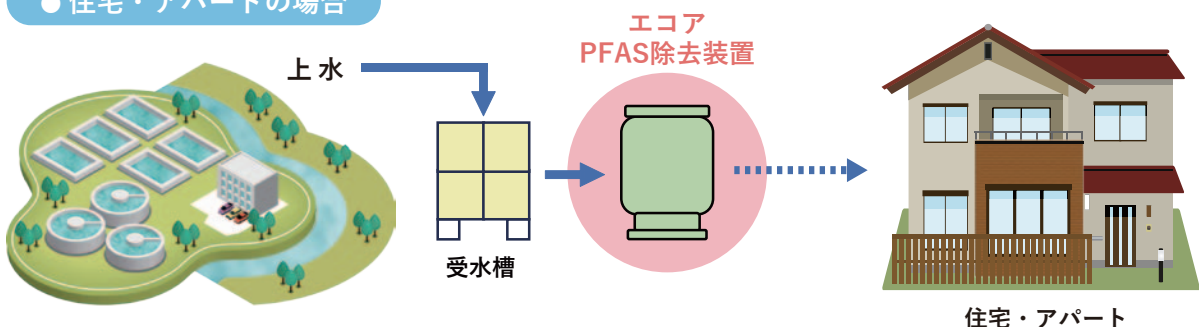
水の流れ

設備イメージ

●ビル・大型施設の場合



●住宅・アパートの場合

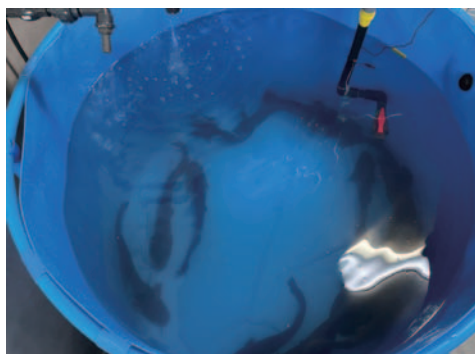




エコアグローバル・SDGs 松本営業所サステナブルラボ始動！



エコア松本営業所にてサステナブルラボが始動しました。兼ねてからプランを立てていた陸上養殖の研究所として養殖ナマズを生産します。水質管理において残渣・糞尿等様々な要因でアンモニアが蓄積します。対策としてろ過システムを導入し定期的に水質測定や水槽の清掃を行い、養殖しやすい水質を安定させます。7月8月頃新魚の成熟育成となります。産卵床を設置し2000匹の受精卵を飼育槽に仕込んでいきます。課題としては糞の量が多く糞除去のシステムの構築、酸欠対策の強化、停電時の対策等を考案していく予定です。



海外高度人材における採用事例

山梨県、静岡県主催の海外高度人材活躍支援事業に参加し、2024年よりモンゴルより来日したガン ホヤグ ガンエルデネさん(24歳)元々日本が好きで、京都のホテルで半年間インターンをしていたこともあり、ある程度の日本語は理解できていましたが、エコアの専門的な業務を行う中で専門用語等が難しく苦戦していた時期もありました。来日して1年を迎える前にモンゴルに残してきた奥さんと息子さんを日本に呼ぶために仕事をしながら家族のビザ申請の為に休みの日には役場に行く生活でした。そしてついに念願が叶い、奥さん息子さ

んのビザの申請が通り、今年の3月に入国し、現在は山梨の甲府市で一緒に生活することができました。仕事をする上で必要な車の免許も無事に取得し、仕事もプライベートも充実した生活を送っています。海外から多くの外国人がやってくる社会ではありますが、日本の少子高齢化で若者の力が不足する世の中では国外から熱意をもって働いてくれる力も必要となってきました。国際的に信頼された海外高度人材の採用は人材採用手段となります。グローバル化した世の中でエコアも様々な取組を行い業務を推進して行きたいと考えています。



ガン ホヤグ ガンエルデネさん(25歳)



ガンエルデネさんご家族

2024年エコア45周年記念式典に頂きました胡蝶蘭が今年も綺麗に咲きました！

昨年の45周年記念式典に頂きました胡蝶蘭が今年も大輪満開となりました！胡蝶蘭は亜熱帯地域の植物で、湿気がとても大切です。昨年花が咲き終わった後、花茎を切ります。この時根元から数えた2〜3節を残して、節の上2cmの位置でカットします。毎日霧吹き等で根から葉にかけてお水を与えて美しい花が咲かせる事が出来ました。



2025.6.10



2025.6.12



2025.6.13



2025.6.30



2025.7.5

2025年 夏

おススメ サービス・商品

新たな時代に向けた安心安全の為の商品、製品、施工のご案内です。まずは、生活環境から見直しませんか？



清掃

個人住宅からビル清掃まで様々な建物の清掃承ります。

ビル・ホテル

- 定期清掃
- 日常清掃
- 客室清掃
- エアコン清掃

個人住宅

- キッチン回り
- 風呂・トイレ
- ガスレンジ
- 廃棄物処理

害虫駆除防除システム ペストガード

夏の害虫対策には、ハエや蚊を寄せ付けない「ペストガード」をお勧めしております。大手食品企業様、病院、保育園や介護施設、ゴルフ場等、様々なスペースを安全に飛翔性昆虫や害虫から守ります。



害虫捕獲システム フライゲットS



フライゲットSは侵入してきた虫を誘引灯で寄せ付け捕獲し特殊粘着シートでキャッチします。捕獲した害虫はそのままモニタリング調査が可能。ペストガードと組み合わせて害虫防除をより効果的に行えます。

PFAS対策施工

社会的に注目されているPFASは人体への影響等も出ている可能性があるとの事。エコアではPFAS対策施工を行っております。PFAS対策としてエコアが行なっているのは主に逆浸透膜浄水装置で、およそ95%以上の除去が確認されています。調査・設置施工等はお気軽にご相談下さい。

給排水施工においては貯水槽工事、排水ポンプ設置、井戸給排水設置工事など大規模なものから、水もれや詰まりなど日常の水道トラブルまで、総合的なご相談も承っております。



お見積り・お問い合わせ



0120-989-587



2025年夏 会長コメント

2025年4月16日立川リスルホール「東京多摩音楽祭」、6月5日、日本歌手協会歌謡祭「夏まつり唄まつり」、7月3日、日本歌手協会歌謡祭「夢舞台」で歌唱の舞台に立つ機会がありました。「夏まつり唄まつり」はBSテレ東で7月21日～23日3夜連続で放映されました。※歌手協会歌謡祭はYoutubeでも配信されます。

又、絵画を描き初めて10年程になりますが、地球、自然を感じられる景色を描き続けております。中でも山梨県の世界遺産、富士山に魅了され、100枚以上の富士山を描いてきました。昨年末に宿泊した立川市ソラノホテルからの景色は12月だというのに紅葉が見られました。これも地球温暖化、気象変動に

よる事なのかと深く考えさせられながら立川自衛隊、昭和記念公園、丹沢山地の奥で聳え立つ富士山を描きました。「武蔵野平野晩秋の富士」6月11日～23日東京都美術館(たぶろう展・入選)「奇跡暁の富士」6月23日～28日国立新美術館(二科東京支部展・入選)

現在インバウンドにより多くの外国人が富士山に訪れ、店頭前の道路の路上から写真を撮影したり、登山における「登山者数の制限」等オーバーツーリズムによる様々な問題があります。多くの旅行者に富士山の素晴らしさを近くで見て頂けるのは嬉しい事です、現地のマナーを守って楽しい旅をして頂きたいです。



衛生管理のことならエコアにお任せ下さい。

エコア調査隊が行く！



ペストコントロール

夏季になると急激に増加する害虫。今回は横浜のT社に内部で発生した害虫対策に向かいました。内部発生害虫とは、排水やグリストラップ等の清掃状況により大発生する場合もあるチョウバエやノミバエ、チャバネゴキブリ等、穀物に発生するノシメマダラメイガ、コクゾウムシ、チャタテムシ等様々な種類の害虫の発生が考えられます。内部発生の可能性がある排水溝、グリストラップをまずは丁寧に清掃します。排水溝は高圧洗浄し、グリストラップは吸引し、徹底的に清掃します。その後害虫防除用の薬剤を噴霧し、万が一上がった場合の捕獲トラップを仕掛けます。又工場内での害虫の捕獲器としてエコアのフライングでモニタリングを定期的に行い、侵入が考えられる箇所にはペストガードを設置します。システムにて定期的に管理することにより害虫被害は大幅に減少します。

お問合せはフリーダイヤル0120-989-587

プロ仕様

ペストガード
PEST GUARD

カートリッジ
連続 1500 時間
効果アリ！

広範囲で
長く効く

ハエ・蚊の
侵入をブロック

プラグ式

無香料

人体・ペット
無害

静音

設置型

飛翔性昆虫※
全般に効果

※メイガ、コバエ、チョウバエ、ユスリカ、タバコシバンムシ、羽アリなど



現代・未来の環境を創造する

エコア株式会社

<https://www.ecore.jp>

□本社	〒190-0021	東京都立川市羽衣町1-5-15	TEL042-524-3232
□東京事業所	〒190-0021	東京都立川市羽衣町1-5-15 エコア本社ビル2F	TEL042-524-3232
□山梨事業所	〒400-0053	山梨県甲府市大里町2062	TEL055-241-1755
□松本営業所	〒399-0036	長野県松本市村井町南1-14-8	TEL0263-59-6513
□横浜営業所	〒226-0019	神奈川県横浜市緑区中山1-20-5	TEL045-929-6120
□東海営業所	〒462-0825	愛知県名古屋市中区大曽根1-27-15	TEL052-911-7771
□宮城営業所	〒986-2281	宮城県牡鹿郡女川町石浜字七曲35-4	TEL0225-98-4325
□大阪営業所	〒532-0004	大阪府大阪市淀川区西宮原1-3-20-1F	TEL06-6399-7711
□広島営業所	〒730-0051	広島県広島市中区大手町1-1-26 大手町一番ビル304	TEL082-569-7695
□九州営業所	〒816-0851	福岡県春日市昇町5-66	TEL092-582-8128
□群馬出張所	〒371-0844	群馬県前橋市古市町1-35-1ラシーネ前橋内	TEL027-255-6546
□食品安全事業部	〒164-0012	東京都中野区本町2-2-13 NKビルディング9F	TEL03-6276-7030
□環境検査センター	〒164-0012	東京都中野区本町1-16-6 エコア第5ビル1F	TEL03-3320-8480
□情報センター	〒190-0021	東京都立川市羽衣町1-5-15エコア本社ビル3F	TEL042-524-3232
□千葉営業所	〒272-0025	千葉県市川市大和田2-15-13テラス大和田101号	TEL047-321-4101



0120-989-587